

ロレト・アラメンディ Loreto Aramendi

サンタ・マリア・デル・コロ大聖堂オルガニスト
サン・セバスチャン・エスクデロ音楽学校教授

ロレト・アラメンディは、サン・セバスチャンのエスクデロ音楽学校で、ピアノ、チェンバロ、オルガン、室内楽を学んだ後、バヨヌ国立音楽学校でオルガンを専攻、修士課程を金賞で終了、更にフランスのリヨン国立音楽大学でオルガン科を優秀な成績で卒業後、パリの国立高等音楽院に学び、更にM.ラドレスク教授などの上級研究コースでも学んだ。2014年以来、フランスとスペインのオルガン修復作業に参加している。2015年にサンタ・マリア・デル・コロ大聖堂の1863年に建造されたカヴァイエ・コル・オルガンで、C. フランク、F. リスト、J. ブラームスなどのオルガン曲を収録したCDを発表、『クワイア & オルガン』誌から4つ星賞を授与された。長年にわたりバスク・シンフォニー・オーケストラと共演してきた。またバスク大学から心理学の学位を得ている。これまでヨーロッパ諸国の主要都市でコンサートを開き、アメリカ、カナダ、アルゼンチン、ロシアなどの国際フェスティバルに招待された。東京ではオペラ・シティー・ホールでリサイタルを開いた。

☆☆☆☆☆

バッハの森・記念奏楽堂 オルガン仕様

建造：ユルゲン・アーレント・オルガン工房 1989年
The organ built in 1989 by Jürgen Ahrend Orgelbauwerkstatt

手鍵盤 I	Manual I : Hauptwerk C-f '''
プリンツィパル 8'	Prinzipal 8'
ホールフレーテ 8'	Hohlflöte 8'
オクターヴ 4'	Oktave 4'
ナザート 2'	Nasat 2'
オクターヴ 2'	Oktave 2'
コルテット III	Cornet III
ミクスチュア IV	Mixtur IV
トロンペーテ 8'	Trompete 8'

手鍵盤 II	Manual II : Rückpositiv C-f '''
ゲダクト 8'	Gedackt 8'
プリンツィパル 4'	Principal 4'
ゲダクトフレーテ 4'	Gedacktflöte 4'
オクターヴ 2'	Oktave 2'
ブロックフレーテ 2'	Blockflöte 2'
セスキアルテラ II	Sesquialtera II
ドゥルツィアン 8'	Dulzian 8'

足鍵盤	Pedal : C-f
ズバス 16'	Subbass 16'
オクターヴ 8'	Oktave 8'
オクターヴ 4'	Oktave 4'
トロンペーテ 8'	Trompete 8'

ペダル・カプラー I/P	Pedalkoppel I/P
トレモロ	Tremulant

音律：ヴェルクマイスター II、空気圧：55mm / WS
機械式アクション、19音栓、パイプ数：1206本
Temperament : Werckmeister II, Air pressure : 55mm / WS
Mechanical action, 19 stops, 1206 pipes

